



第4回  
定例会

※補正予算 年度当初の予算（当初予算）に、追加・その他の変更を加えるために提出される予算  
※付議事件 本市議会だよりでは、議案のうち条例、補正予算、人事案件、意見書以外のものを付議事件としています。

Pick Up

補正予算

国が進める「強い経済」を実現する総合経済対策に係る補正予算案を可決

全会一致

令和7年12月9日開会の第4回定例会において、国の重点支援地方交付金を活用した物価高騰対策などの各事業費が計上された令和7年度一般会計補正予算（第4・5号）を可決しました。事業の中から主なものを紹介します。

### 生活応援給付金事業



総額 7,609 万円

食料品をはじめとする生活必需品の価格高騰による家計への負担を軽減するため、国の重点支援地方交付金を活用し、市民1人当たり3,000円の生活応援給付金を支給します。

### 物価高対応子育て応援手当



総額 4,100 万円

物価高の影響が長期化し、幅広い世帯に負担がかかる中、特に影響を受けやすい子育て世帯を力強く支援するため、ゼロ歳から高校3年生の年代までの子供1人につき2万円を応援手当として支給します。

### 【条例】

■ 深川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例  
■ 深川市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例

全会一致

全ての子供の育ちを応援し、子育て世帯への支援を充実させるため、保育所等に通つていらない満3歳未満の子供を対象としたこども誰でも通園制度を令和8年4月から実施するに当たり、国の基準に沿った規定を整備し、関連する二つの条例を新たに制定するものです。

■ 深川市水道事業給水条例の一部を改正する条例  
賛成多数

本市の水道料金は平成8年から約29年間据え置きましたが、受水費の値上げや人件費・物価高騰による維持管理費の増加、使用世帯数の減少による収入減などから、現行料金では事業継続が困難と判断しました。深川市上下水道経営審議会の料金引上げが必要との答申を踏まえ、令和8年4月1日から水道料金を改定するものです。

# 家計の負担軽減・物価高への対応